

# 「たまのつながりネットワーク」

## これからの地域と学校の連携どうしていく？

令和3年2月22日（月）に各学校（各地域学校協働本部）の地域連携担当、地域学校協働活動推進員をお招きし、第2回地域教育協議会を開催しました。

会では玉原小学校本部、田井小学校本部から事例をご紹介いただいた後、グループ毎に分かれ、今年度の学校と地域の連携に関する成果と課題、来年度取り組みたいことやアイデアについての情報交換を行いました。以下に、各グループの話し合いの様子をお伝えします。



### 【○成果・△課題・☆来年度取り組みたいことやアイデア】

<b>A</b>	<p>○学習発表会では、合奏指導の支援をボランティアがしている。子どもたちのできた時の嬉しそうな顔を見ることがボランティアの喜びにつながっている。</p> <p>○立ち上げに向けてははじめの一歩を踏み出した。</p> <p>○樹木の選定について、児童生徒の指導も兼ねて行えた。</p> <p>△授業支援等ではボランティアが支援をしすぎるのではなく、失敗することも経験だと思う。「ボランティア」の約束事についての冊子等を市全体で作成してほしい。</p> <p>△子どもの特性を知るために、ボランティアの方向けの研修もあってはいいのではないかな。</p> <p>△職員もボランティアの方から学ぶ機会を作っていきたい。</p> <p>☆地域連携について学校のホームページで発信していきたい。</p> <p>☆学校から「〇〇してほしい。」と伝えるだけでなく、「私はこれができます！」ということを地域から募集し、プロジェクトとして立ち上げたい。</p> <p>☆ボランティアの立場を教職員が理解できるようにしていきたい。</p> <p>☆現在配布が進んでいる学習端末を活用した活動を検討したい。</p>
<b>B</b>	<p>○学習ボランティアでは児童生徒の学びに関わることができて良かった。</p> <p>○地域外のボランティアの方への声かけによって、新たな出会いがあった。</p> <p>○本部の立ち上げを行い、登録者があった。</p> <p>○テスト週間には、放課後質問教室を開催した。</p> <p>△どんな活動をしていいのかわからなかった。</p> <p>△地域は学校に、学校は地域に遠慮してしまうことがあった。ニーズを伝えることができなかった。</p> <p>△中学校区内にも温度差がある。</p> <p>△コロナ禍でボランティアの参加が難しいことがあった。</p> <p>☆学校、地域のニーズを積極的に交流しあう。</p> <p>☆地域の人材を把握していくこと。</p> <p>☆教育課程に地域連携を位置付けていく。</p>
<b>C</b>	<p>○登下校の見守りを継続して行うことができた。</p> <p>○コロナ禍でも、できることを行なった。</p> <p>○「協働」をポイントにボランティアの方々の意識を変えることができた。</p> <p>△緊急時のボランティアの方々への連絡が難しかった。</p> <p>△推進員の方が、事業の内容や人材、困りごとを把握することで、次の活動につながっていく。学校・地域・家庭の方々に「つなぐ」という意識が大切だと思う。</p> <p>☆PTAとの関わりをもつことによって、活動を広げることができる。</p> <p>☆子どもたちが地域のためにできることを探していきたい。</p>

ウラへつづく→

D	<p>○読み聞かせボランティアの活動で、コロナ対策として読み聞かせを録音し、それに合わせて紙芝居風にしてくれた。</p> <p>○登校ボランティアさんが少しずつ増えて広い地域をカバーできはじめている。</p> <p>○コロナ対策として、地域や保護者の方から、あいさつをよくしている子に渡すという活動を行った。</p> <p>△中学校では体験活動だけではなく、学習にももっと入ってもらえるようにしていきたい。</p> <p>△地区が広く地区によってしていることが違い、まとめるのが難しい。</p> <p>△中学校の部活の指導の支援をできればしたいが、学校のニーズとボランティアさんのニーズをうまく合うようにしていきたい。</p> <p>☆コロナでできなかった活動をできるようにしたい。</p> <p>☆地域の方に消毒をしてもらえると助かる。</p>
E	<p>○子どもの数が少なかったので、地域の方々と家庭科の授業を行った。</p> <p>○月1回程度ではあったが、地域の方々は好意的に集まってくれた。</p> <p>○パトロール、家庭科支援、算数支援などで先生方の負担が減った。</p> <p>△協議会が中止になるなど、例年していたことができなかった。</p> <p>△本部を立ち上げたばかりで何をしたらよいかわからなかった。</p> <p>△PTAや学校との関わり方がまだまだ難しい。</p> <p>☆ビデオを撮って、地域の方の活動を子どもたちに伝えたい。</p> <p>☆推進員やコーディネーターの複数配置を検討したい。</p> <p>☆推進員の机を職員室に配置したい。</p>
F	<p>○ボランティア同士のコミュニケーションがよく取れていて、フットワークが軽い。</p> <p>○ボランティアがマスクを作成し、全児童に配布した。</p> <p>○地域の方が進んで「こうしたら」ということを伝えてくださる。その結果、活動がすばらしい仕上がりになった。</p> <p>△新しいことを発掘できない。</p> <p>△頼む人が固定化している。今後を考えると人材の発掘をしていきたい。</p> <p>☆読み聞かせのメンバーを保護者の方にも声をかけ広げていきたい。</p> <p>☆お茶の体験をしたい。</p>



コロナ禍でなかなか活動ができなかったから、地域の方と子どもたちとの距離が遠くなってしまった気がする...

ボランティアさんが活動する様子を動画教材にしたり、写真で伝えたりできたら、何とかつながりが維持できそう！



〈まとめ〉

**コロナ禍の今だからこそ、子どもたちできることをみんなで考え、実践に移していくことが大切。**